

青森・弘前バスマップサミット・巡検

今回はバスマップサミットに参加をされた「ぐるっと高松」公共交通を育てる会の井上さんより寄稿していただきました。



実際に走っている路線バスに乗って、弘前の公共交通事情やまちの様子を観察するフィールドワークに参加してきました。

何もわからないまま、会場の弘前観光館をスタート。会館前を通る、土手町循環という循環路線に乗車しました。ショッピングセンター、弘前駅、飲み屋街、市役所を10分毎に運行。所要時間20分の路線。

バスに乗車すると、高松では「お待たせしました！」と乗務員さんから放送されるのが一般的だと思っていましたが、弘前へ行くと「こんにちは！」とあいさつ。バスの乗務員さんとの距離を近く感じ好印象でした。

まず、弘前バスターミナルを目指しました。走行中のバス車内からバス停留所を見ていると、「〇〇眼科」、「〇〇メガネ」、「〇〇総合病院」などを示した看板が目に入るが、実はバス停留所。三角柱の形状で、道路側には広告看板、歩道側には時刻表を明記した面がある。ところが、バス停名の表記が見えない。15分かけて弘前バスターミナルに到着。イトーヨーカドーが核店舗となる商業ビルの一階に、2面对向式の鉄道ホームのような形状のバスターミナル。

各方面への乗り場のバス停ポールを見に行くと、行き先表示と発車時刻は示してあったが、肝心の路線図(経路表)と運賃が示されていない。これでは、バスの利用に不馴れだと利用しにくいなという印象でした。



バス自体は、前ドア仕様の車輈を使用。貸切タイプの車輈に行燈(行き先表示)を装着したものや宴会場送迎に使えるようなマイクロバスも、路線バスとして立派に使われている。ただ、各車両の特性なのか、行燈が見えづらいので近くに寄っても、何を書いているのか判りにくかったです。

弘前バスターミナルから、城東環状 100 円バス(和徳回り)に乗車、さくら野百貨店へ向かいました。

ショッピング系の路線で、主たる乗車は弘前バスターミナルとさくら野百貨店。20分毎の運行ですが、往復とも席満乗車でした。

弘前は、城下町ながら平坦ではない中途半端なアップダウンが多い町なので、バス利用に恵まれる環境にあると思いますが、新規利用者の獲得に至っておらず、若年層の利用が伸び悩んでいる印象でした。

後の意見交換会では、新規のバス利用者を増やしていくという環境ではないことについて、発表をしました。